

人々の豊かな「暮らし」と「食」のために

豊かな自然と、豊かな暮らし。それは農林中央金庫の願いです。

JAバンク・JFマリンバンクの全国機関として

農林水産業をしっかりと支えていくこと。

ひいては日本に暮らすすべてのみなさまに貢献すること。

それが農林中央金庫の使命にほかなりません。

明日の農業を支える担い手の育成や、

自然環境や資源を守るための森林再生事業。

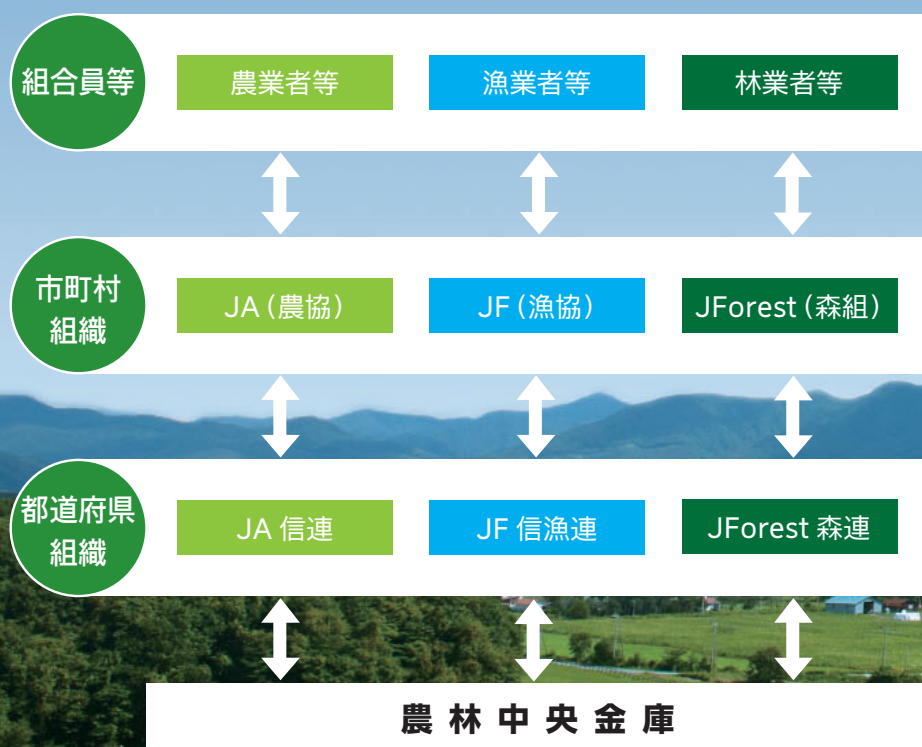
さらには、国内有数の機関投資家として

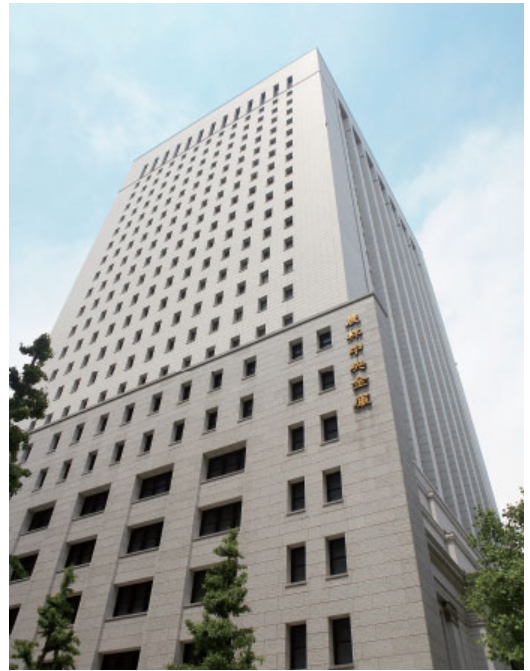
グローバルな投資活動による安定収益の確保も、

私たちの使命を果たすための重要な活動です。

次の時代の豊かさのために。

農林中央金庫は活動を続けてまいります。





プロフィール

名 称	■ 農林中央金庫 (英文名称:The Norinchukin Bank)
根拠法	■ 農林中央金庫法 (平成13年法律第93号)
設立年月日	■ 大正12(1923)年12月20日
経営管理委員会会長	■ <small>ばんざい あきら</small> 萬歳 章
代表理事理事長	■ <small>こうの よしお</small> 河野 良雄
資本金	■ 3兆4,259億円 (平成24年3月31日現在) ● 出資は、会員および優先出資者から受け入れております
連結総資産額	■ 72兆2,628億円 (平成24年3月31日現在)
連結自己資本比率 (国際統一基準)	■ 24.67% (平成24年3月31日現在)
会 員	■ 農業協同組合(JA), 漁業協同組合(JF), 森林組合(JForest), およびそれらの連合会, その他の農林水産業者の協同組織等のうち, 農林中央金庫に出資している団体。 (平成24年3月31日現在 3,873団体)
従業員数	■ 3,206人 (平成24年3月31日現在)
事業所	■ 本店…1 ■ 国内支店…18 ■ 分室…5 ■ 推進室…17 ■ 海外支店…3 ■ 海外駐在員事務所…2 (平成24年7月31日現在)

格 付

格付機関名	長期債務格付	短期債務格付
スタンダード&プアーズ社	A+	A-1
ムーディーズ社	A1	P-1

(平成24年3月31日現在)

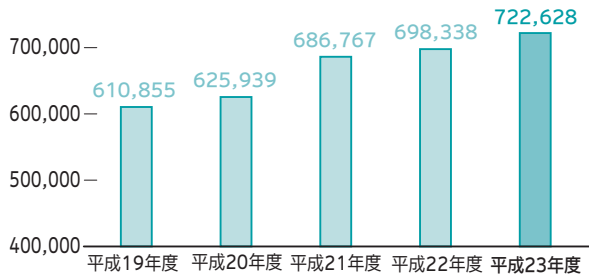
本誌では、農業協同組合をJA(農協)またはJA, 漁業協同組合をJF(漁協)またはJF, 森林組合をJForest(森組)またはJForestとそれぞれ記載しています。

本誌には、当金庫の平成24年3月末時点における財務状況および業績に関する実績値(店舗一覧等は直近の状況)のほか、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述が含まれています。これらの将来に関する記述は、当金庫が作成時点に入手可能な情報に基づき、予測等や一定の前提(仮定)の下になされており、経営を取り巻く環境の変化などにより異なる結果となりますことをご承知おきください。

財務ハイライト(連結)

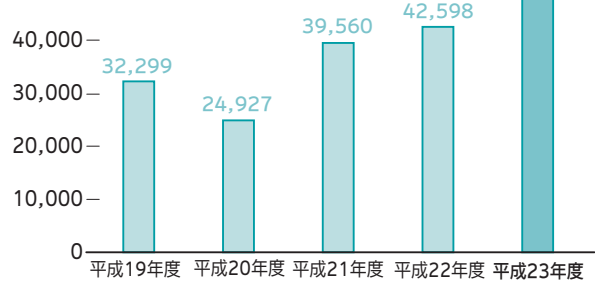
▶ 総資産

(単位:億円)
800,000-



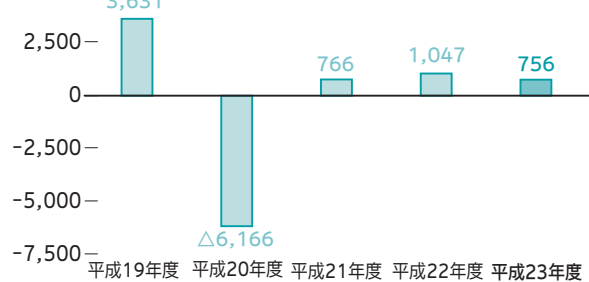
▶ 純資産

(単位:億円)
50,000-



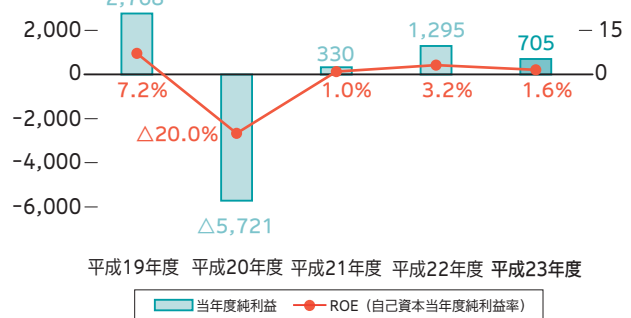
▶ 経常利益 (又は経常損失)

(単位:億円)
5,000-



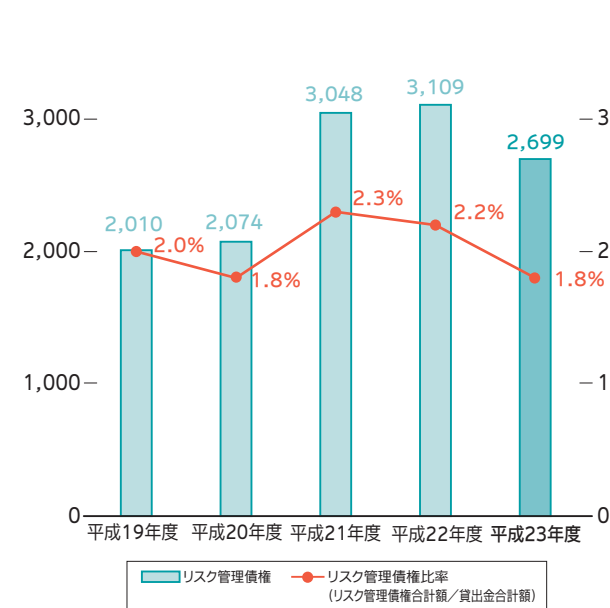
▶ ROEおよび当年度純利益 (又は当年度純損失)

(単位:億円)



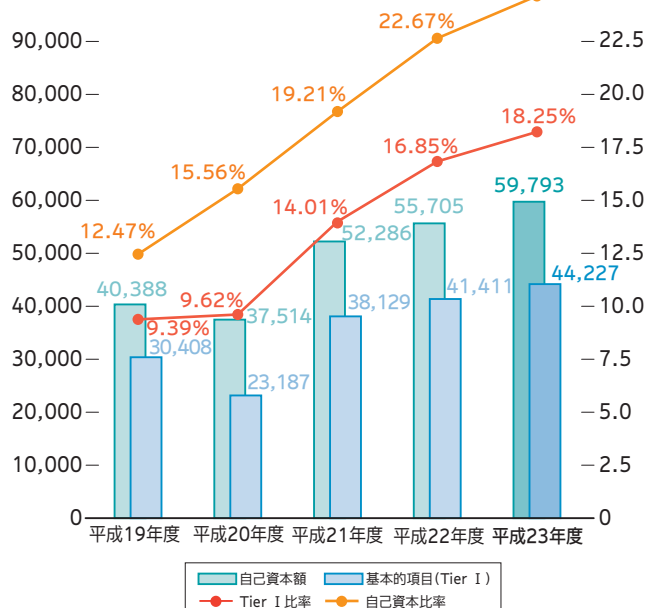
▶ リスク管理債権

(単位:億円)
4,000-



▶ 自己資本比率

(単位:億円)

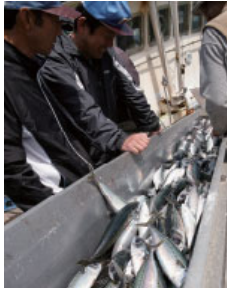




農林中央金庫の 経営戦略

▶▶▶ 05

トップメッセージ	6
農林中央金庫の取り組み	10



系統信用事業の現状と 農林中央金庫の役割

▶▶▶ 23

系統組織と系統信用事業	24
JAバンクシステムの運営	29
JFマリンバンクの運営	33
JForestグループの取り組み	35
系統人材の育成・能力開発強化	36
系統セーフティネット	37



自己資本と リスク管理の状況

▶▶▶ 39

自己資本の状況	40
農林中央金庫のリスクマネジメント	42



経営管理システム

▶▶▶ 57

経営体制 (コーポレートガバナンス)について	58
内部統制強化への取り組み	59
内部監査体制	62
社会に信頼される 金融機関であり続けるために	64
情報セキュリティの取り組み	68
魅力ある職場づくり	69



主要な業務のご案内

▶▶▶ 71

業務のご案内	72
農林中央金庫のグループ会社	81



資料編

▶▶▶ 83

財務データ	84
バーゼルIIデータ	152
報酬等に関する開示事項	203
内部統制	205
コーポレートデータ	208